



— 光でつながる知と未来 —

いま、研究の現場では分野の垣根を越えた連携がますます重要になっています。その中で、「光」は、物質を捉え、情報を伝え、生命を観ることを可能にする、最も汎用性の高い研究ツールの一つです。

本学においても、光を扱う研究者は多岐にわたり、物理・化学・生物・情報・医療・環境など、異なる領域で独自のアプローチを展開しています。しかし、それらはまだ“点”として存在しており、“線”や“面”として繋がる仕組みが十分とは言えません。私たちは、「光」という共通言語を通じて、多様な研究分野の知と情熱が交わる場 —「光創ネクサス」— を立ち上げたいと考えています。

● 目的とビジョン — 本拠点が目指すもの

■ 異分野連携による革新的研究の創出

光を直接扱う研究者に加え、「光を使ってみたい」と考える研究者にも門戸を開きます。分野横断の交流を通じて、新たな研究テーマや応用技術の創出を促進します。

■ 共通機器の整備と資源の共有

大型光装置・分光計測機器などの戦略的整備を進め、学内外の研究者が利活用できる環境を整備します。外部資金の獲得も視野に入れたサステナブルな仕組みを構築します。

■ 人材育成と国際的な情報発信

若手研究者・学生の異分野体験を促進し、光科学の次世代を育てます。また、学外の研究者とも連携を図り、国際ネットワークの中で存在感ある拠点を目指します。

● 光はすべての研究者に開かれている

光は、化学反応のトリガーであり、生命の鼓動を可視化するレンズであり、未来社会を支える通信や医療のインフラです。本拠点「光創ネクサス」は、こうした光の多様な可能性を最大限に引き出し、分野を超えて共創するためのハブです。

本拠点は、光を使う・使わないにかかわらず、「新しいことに挑戦したい」「異分野とつながりたい」と考えるすべての研究者に開かれた場です。ここから生まれる交流と融合が、本学の研究を次のステージへと押し上げる原動力になると確信しています。

世話人：三澤 弘明 先鋭研究領域(異分野基礎) 教授(特任)

福田 伸子 環境生命自然科学学域(工) 教授

武安 伸幸 環境生命自然科学学域(理) 准教授

岡村 秀紀 医歯薬学域(薬) 助教

田中 健太 先鋭研究領域(異分野基礎) 助教

仲間になりませんか？

メンバー登録・お問い合わせはこちら



岡山大学 研究・イノベーション共創機構

彭子灝（学術研究コーディネーター） peng-zixuan@okayama-u.ac.jp

畠中 耕治（主任URA） koji.hatanaka@okayama-u.ac.jp

